

刊行にあたって

編集委員長

松井 望

せたがや自治政策研究所の活動の一環として、2008年度より刊行しております学術機関誌『都市社会研究』もおかげさまで第16号を刊行することとなりました。特集に寄稿していただいた先生方をはじめとして、論文、研究ノート、活動報告に投稿いただいた皆様のお陰によるものと存じます。また、編集にご協力いただいた編集委員会の委員や査読を担当された方々、編集委員会をサポートしていただいている事務局にも、心より厚く御礼申し上げます。

本誌刊行の目的は、一つには学術研究の発表・発信、またそれを基礎とする政策形成の基盤づくりにあります。いま一つの目的は、実践的な内容を持ち、公共の利益に資するような研究の発表・発信の場とすることです。従来学術研究誌にはみられない実践的かつ公共的な性格を併せ持つ、地域発の学術機関誌をめざして発刊したものです。

本号の特集テーマは「現代都市における孤独・孤立と居場所・つながり」としています。せたがや自治政策研究所では、令和3年7月に「地域生活とコミュニティに関する調査」を実施し、昨年11月に「コロナ禍における『つながり』を考える」をテーマに区民セミナーを実施したところです。調査の結果から近所づきあいが減少していることが明らかになったことを踏まえて、今後の地域コミュニティのあり方を考えるために、「孤独・孤立、居場所づくり」を特集テーマとして設定しました。

研究者や専門家、自治体職員の方々はもちろんのこと、多くの世田谷区民の方々に本誌を手にとっていただきたいと願っております。さらに、都市社会を研究対象とする全国の若手研究者が投稿論文の本誌への掲載を名誉と考えるような機関誌に育っていくよう願っています。

最後に、今後とも投稿者、読者の方々をはじめ、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたしまして、第16号刊行のご挨拶とさせていただきます。